



今後使っていく予定の新しい窯



作業場入口



父の絵唐津茶盃



父の遺した作品を展示しています



父の窯印



展示室内、父の写真と器たち



私の作品も少し展示しています。食器を作っています



中川 恭平
Kyouhei Nakagawa

1983年玄海町生まれ。
中川自然坊窯で修業
した後、先代を継いで
独立。

- 駐車場 (3~4台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

中川自然坊窯

ナカガワ シネボウ ガマ



東松浦郡玄海町新田 1469-27
TEL.0955-52-2566

陶芸家の父の遺志を継ぎ、恭平さんは唐津焼をつくっている。先代からこだわり続けている土づくり。唐津焼では珍しい玄海町の赤土を使い、機械を通さずに自然のままを活かし、粘土づくりに励む。その土の味わいから生まれる刷毛目、粉引の荒々しさは独特で、窯元独自の魅力となっている。

窯焚きでは常にデータを記録し、なぜうまく行かなかったのかを検証する。「窯焚きの失敗の中から学べ」先代の遺した言葉を胸に刻み、日々作陶に向かう。思い通りの土ができたとき、窯焚きがうまくいくと楽しい。刷毛目・朝鮮唐津にはまっており、今後はより土味を活かした作品づくりを探索していきたいという。先代のこだわりが、世代を超えて受け継がれている。

先代から受け継ぐ、土へのこだわり。